

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3823006	学習指導と学校図書館 Learning Guidance and School Library	河合 龍二			2	選択	1後期

**科目の概要**

学校図書館は「教育課程の展開に寄与」するため、児童生徒の主体的な学びを支える様々な情報資源を収集し、利用に供している。本科目では、学校図書館がもつ「読書センター」「学習センター」「情報センター」の機能を活かし、児童生徒の学習支援を効果的に行えるようにするため、学校司書として必要な知識や技能を身に付ける。  
学校図書館を活用した授業や情報活用能力育成の実践事例を紹介し、授業者への支援や授業者と協働した指導の方法を見出せるようにする。(ディプロマ・ポリシー②③④⑥)

学修内容	到達目標
① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を理解する。 ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディア選択のための知識・技能を身に付ける。 ③ 学習指導における学校図書館の活用方法を知り、学校司書の役割を認識する。 ④ 児童生徒の情報活用能力を育てる学校図書館の役割と指導方法を理解し、学校司書の役割を認識する。	① 学校図書館と教育課程の関連、学校図書館を活用した学習の意義を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③⑥) ② 児童生徒の発達段階や学習内容に応じた学校図書館メディアを選択できる。(ディプロマ・ポリシー②④) ③ 学校図書館を活用した授業実践事例から学校司書の役割と具体的な支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②④) ④ 児童生徒の情報活用能力育成に係る学校司書の役割と具体的な指導・支援方法を説明することができる。(ディプロマ・ポリシー②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
前に踏み出す力	主体性 課題や授業で紹介した参考資料について、積極的に図書館等で調べ、学習指導案を作成することができる。
	働きかけ力
	実行力 よりよい模擬授業となるよう積極的に先行事例を調べアレンジする。よりよいブックトークとなるよう、積極的に情報収集したり、児童図書を読んだりして、選書や構成を熟慮したシナリオを作成することができる。
考え抜く力	課題発見力 学校図書館のあるべき姿と現状とを比較することで、学校図書館が抱える課題について客観的に捉えることができる。
	計画力 期日までに学習指導案ができるよう計画的に進めることができる。
	創造力 教科等の学習内容に対し、多角的に学校図書館の支援を考えることができる。
チームで働く力	発信力 相手意識、目的意識をもって発表することができる。
	傾聴力 他者の発言や発表をよく聴き、質問・感想・アドバイスを言うことができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

**テキスト及び参考文献**

テキストは使用しない。毎回配付するプリントをテキストとする。  
 参考文献：「探究 学校図書館学 第3巻 学習指導と学校図書館」全国学校図書館協議会 2020年  
 「思考を深める探究学習 アクティブ・ラーニングの視点で活用する学校図書館」桑田てるみ著  
 全国学校図書館協議会 2016年

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：図書館、学校司書に関する科目全て  
 資格との関連：学校司書

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

科学絵本、科学読み物、調べ学習向けの図書、ブックリストを公共図書館などで積極的に探し、内容を確認しておく。学校司書として選書する際の知識や技能を高めることができる。個人でブックトークを体験してもらおう。帯活動としてリーディングスキルを高めるトレーニングを継続する。成果をあげよう。	学校司書としての実践力を育成する。グループワークで学習指導案を作成し、模擬授業を行う。もっとも大切なのは欠席しないこと。他のメンバーと連携しつつ、自らの役割を果たそう。
--	--

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	筆記試験では、学校図書館を活用した学習指導・支援に関する専門用語の理解と授業で学んだ内容についての理解度を問う論述問題を出題する。 評価ポイント ①学校図書館活用に関わる専門用語の理解 ②学習指導において学校図書館を活用することの意義についての理解 ③学習内容と関連したブックトークの際に留意すべきことについての理解 ④授業計画立案、授業の際の児童生徒及び教職員への具体的な支援についての理解 ⑤探究の過程に沿った児童生徒への具体的な指導・支援についての理解
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
	平常評価	小テスト	0	①		
				②		
				③		
				④		
平常評価	レポート	10	①	✓	毎回振り返りを記述した授業シートを提出する。授業シートはポートフォリオとして蓄積しておく。 評価ポイント 授業の内容を的確に捉え、考察できている。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①		・具体的な学習指導場面を想定し、児童生徒の関心意欲を高めたり、学習への理解を深めたりする。学習指導案を作成し、模擬授業をする。 ・PCを使って、ブックトークのシナリオを作成、実演をする。ブックトークを聞き合い、感想や気付きを振り返りシートに記入して提出する。	
			②	✓		
			③	✓		
			④			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	・主体性：課題に対し図書館等を利用し、調べることができる。 ・実行力：教材やねらいに合ったブックトークの選書ができている。 ・課題発見力：各回の授業の振り返りの際、学校図書館が抱える課題や学校司書のあるべき姿を考察できている。 ・計画力：ブックトークの準備を期日までに計画的に進めることができる。 ・創造力：具体的な学習指導場面を想定し、学校司書としての多様な支援方法を考えることができる。 ・発信力：相手意識、目的意識をもって、ブックトークの実演をすることができる。 ・傾聴力：他者の発言や発表をよく聴き、反応できる。 ・規律性：遅刻・無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S (秀) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が9割以上。 ・自ら作成した学習指導案をもとに、模擬授業を全うして成果をあげた。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による聴き手をひきつける実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 A (優) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が8割以上。 ・自ら作成した学習指導案をもとに、模擬授業をできた。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容や児童生徒の発達段階に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。	B (良) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が7割以上。 ・学習指導案の作成や模擬授業で努力した。 ・ブックトークのシナリオを期日までに提出し、学習指導内容に合った選書による実演ができている。 ・社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 C (可) 評価 ・期末試験、小テストで、正解が6割以上。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 学習指導と学校司書の役割 現代の教育課題と学校図書館	講義 ・多様な教育課題と児童生徒の学びを支える学校図書館の機能と役割について学ぶ。 ・学校図書館法を読む。 ・日本十進分類について調べ、第1次区分を暗記する。	今後の学校教育の方向性と学校図書館の機能と役割を説明できる。	(復習) ・学校図書館の利用指導の具体的な内容を整理する。 ・「学校図書館ガイドライン」、現行学習指導要領改訂時の中教審答申(概要)を読む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	学習指導に生きるブックトーク I	講義 ICT活用:教科書出版社サイトを閲覧し、サイトの見方や必要な情報の探し方を確認する。児童生徒の関心意欲を高めたり、学習への理解を深めたりするためのブックトークの方法について学ぶ。 ※第15回授業でのブックトーク実演について説明	ブックトークの方法と留意点を説明できる。	(予習) ブックトークとは何かについて調べる。 (復習) 具体的な学習指導場面を想定し、ブックトークのための選書を行う。 ブックトークのシナリオを第15回の授業までに作成する。	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
3	学習指導案作成 I の① (小学校の学習指導支援) 実践事例調べと素案作成	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・SNSや書籍で実践例を調べ、グループでアレンジする。 ・科目は問わない。個別の支援方法まで考慮する。	・小学校に求められている学びの在り方について理解する。 ・協働して素案を作成することができる。	(予習) 小中学生、高校生の時の学校図書館を活用した学習経験を振り返り、よかったことや問題点を整理する。 (復習) 授業で配付する学校図書館を活用した授業の指導案を熟読し、学校司書の役割を考察する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
4	学習指導案作成 I の② (小学校の学習指導支援) 略案作成と教材の工夫	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・授業のねらいを達成すべく、教材(P P資料を含む)を工夫する。	・協働して略案を作成することができる。 ・教材を工夫できる。	(予習) 自身のこれまでの学校図書館を活用した調べ学習やレポート作成の経験を振り返る。 (復習) 小学校、中学校いずれかの学習指導要領「総合的な学習の時間」解説を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
5	学習指導案作成 I の③ (小学校の学習指導支援) 模擬授業の準備	・指導教員から略案等についての助言を聞き、修正を加える。 ・模擬授業のリハーサルをする。 (グループ数によるが、最も工夫した場面を15~20分程度に収める。)	・時間内に、模擬授業のリハーサルを完了する。 ・略案、教材を指導教員に事前提出できる。	(予習) 「PISA型読解力」「教育課程」「カリキュラム」の用語の意味を調べる。 (復習) 小学校、中学校いずれかの学習指導要領 総則・国語解説の学校図書館に関連する記述を読む。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
6	学習指導案作成 I の④ (小学校の学習指導支援) 模擬授業の実施	・グループ内で役割分担をし、授業者として授業を進行する。 (グループ数によるが、最も工夫した場面を15~20分程度に収める。) ・聴講者は高く評価すべき点と改善点を指摘する。	・模擬授業を成立させることができる。 ・自己評価及び他者評価を「II 中学校・高校の学習支援」に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(予習) カリキュラム・マネジメントの用語の意味を調べる。 (復習) SNSを活用し、複数の学校の学校図書館全体計画を閲覧し、評価考察する。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学習指導案作成 II の① (中学校・高校の学習指導支援) 実践事例調べと素案作成	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・SNSや書籍で実践例を調べ、グループでアレンジする。 ・科目は問わない。個別の支援方法まで考慮する。	・中学校、高等学校に求められている学びの在り方について理解する。 ・協働して素案を作成することができる。	(予習) 「思考ツール」とは何かについて調べる。 (復習) 探究学習における課題設定時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
8	学習指導案作成 II の② (中学校・高校の学習指導支援) 略案作成と教材の工夫	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・授業のねらいを達成すべく、教材(P P資料を含む)を工夫する。	・協働して略案を作成することができる。 ・教材を工夫できる。	(予習) SNSを活用し、図書館が作成する様々なパスファインダーを調べる。 (復習) 探究学習における情報収集時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学習指導案作成Ⅱの③ (中学校・高校の学習指導支援) 模擬授業の準備	・指導教員から略案等についての助言を聞き、修正を加える。 ・模擬授業のリハーサルをする。 (グループ数によるが、最も工夫した場面を15～20分程度に収める。)	・時間内に、模擬授業のリハーサルを完了する。 ・略案、教材を指導教員に事前提出できる。	(予習) 「情報カード」とは何かについて調べるとともに、その活用方法についても調べる。 (復習) 探究学習における情報の整理・分析時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
10	学習指導案作成Ⅱの④ (中学校・高校の学習指導支援) 模擬授業の実施	・グループ内で役割分担をし、授業者として授業を進行する。 (グループ数によるが、最も工夫した場面を15～20分程度に収める。) ・聴講者は高く評価すべき点と改善点を指摘する。	・模擬授業を成立させることができる。 ・自己評価及び他者評価を「Ⅲ特別支援学校の学習支援」に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(予習) レポート作成時の引用の仕方や出典の記載方法を調べ、整理する。 (復習) 探究学習における情報のまとめ・表現時の学校図書館の具体的な指導・支援方法をまとめる。 全国学校図書館協議会作成の「情報資源を活用する学びの指導体系表」を読み、探究の過程全体を振り返り、必要な指導・支援内容を再確認する。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
11	学習指導案作成Ⅲの① (特別支援学校の学習指導支援) 実践事例調べと素案作成	講義・グループワーク ・特別な教育的ニーズに応じた具体的な学校図書館の整備と学習支援方法について学ぶ。 ・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・SNSや書籍で実践例を調べ、グループでアレンジする。	・特別な教育的ニーズに応じた具体的な学校図書館の整備と学習支援方法を説明できる。 ・障がい種別別に求められている学びの在り方について理解する。 ・協働して素案を作成することができる。	(予習) 「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)を読む。 (復習) 公益社団法人日本図書館協会 学校図書館部会「学校図書館における特別なサービスと資料の提供に関する基本方針—図書館利用に困難のある児童生徒のために—」2020年6月を読む。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性
12	学習指導案作成Ⅲの② (特別支援学校の学習指導支援) 略案作成と教材の工夫	・学校図書館の三機能を有効活用して、学習指導案を作成する。 ・授業のねらいを達成すべく、障がい種に合わせた教材を工夫する。	・略案、教材を指導教員に事前提出できる。 ・教材を工夫できる。 ・指導教員から略案等についての助言を聞き、修正を加える。	(復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。 (予習) ブックトークの準備を進める。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性
13	学習指導案作成Ⅲの③ (特別支援学校の学習指導支援) 模擬授業の提案	・模擬授業の提案。 (グループ数によるが、最も工夫した場面を15～20分程度で発表する。)	・模擬授業を提案することができる。 ・自己評価及び他者評価を、就職後に生かすことができる。(PDCAサイクルを回すことができる。)	(復習) 振り返りシートで、何が分かり何ができるようになったかを確認する。 (予習) ブックトークの準備を進める。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	オンデマンド 学校図書館の展望と課題	視聴とレポート提出 ・課題提出授業全体のふりかえり、今後の望ましい学校図書館の姿を考える中で、学校司書に求められる資質・能力を考察する。	期限を守ってレポートを提出できる。 今後、求められる学校図書館の姿と学校司書の資質・能力について説明できる。	(予習) これまでの授業を振り返る。 (復習) 「学習指導と学校図書館」に関して、学校司書の役割をまとめ、自身が目指す学校司書を思い描き、目標を立てる。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
15	学習指導に生きるブックトークⅡ (個人実演)	発表 ブックトークの実演を聞き合い、感想等を交流する。 発表への口頭によるフィードバック	ブックトークの実演をするとともに、ブックトークを聞き合った感想等を交流できる。	(予習) ブックトーク実演の練習をしておく。 (復習) ブックトークの実演を通じて得た気づきをもとに今後の学びへの課題を整理する。 Google classroomで、ブックトークのシナリオを提出する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力